[つくば特別支援学校教材教具シート]

<p>教材名</p>	<p>チャンキングトレーニング用文字カード</p>
<p>写真</p>	
<p>作成者・所有者</p>	<p>A高3 T・H</p>
<p>対象</p>	<p>平仮名は読めるが、一文字ずつ拾ってしまい「言葉」としてのまとまりでとらえることが難しい児童生徒 ※情報を順番に一つずつ（聞いたり，見たりして）受け取ってしまい，頭の中での処理が難しくなっている</p>
<p>目的・効果</p>	<p>目的：思考の機能の一つ，情報をまとまりとしてとらえる「チャンク」を練習するための教具。まとまりとしてとらえられることで，効率よく頭の中で考えることができるようになる。 ※国語の学習として単語の組み合わせを考えさせる課題とは，意味合いが異なる。あくまでも，情報をまとめてカタマリとして処理する練習。</p>
<p>使い方</p>	<p>カードをよく混ぜ，10枚ランダムに選ぶ。選んだカードを並べながら，自分が知っている言葉（単語）に並べ替える。できた単語はワークシートに書き写す。時間内は同じカードを何度使ってもよい。（例 「あ」「か」「め」「り」で，「あり」「あめ」「かめ」「あめりか」の組み合わせが可能） 約15分間実施で，作ることができた単語を点数化する。2文字の単語なら2点，4文字なら4点。「りんご」「あめ」「あめりか」「ごま」だったら，3点，2点，4点，2点で合計11点。</p>